愛知社保協ニュース

2021 年 3 月 31 日　No.188

発行： 愛知県社会保障推進協議会　TEL:052-889-6921　FAX:052-889-6931
E-mail：syahokyo@airoren.gr.jp　ホームページ　http://syahokyo.airoren.gr.jp/

コロナ禍、直ちに消費税減税を！公平な税制が世界のトレンド。世界の５６か国で消費税減税の実施・検討。

消費税導入から 32 年となる 4 月 1 日、消費税廃止角界連絡会や消費税をなくす全国の会の統一行動の前日、3 月 31 日に愛知では名古屋市中区栄三越前デ消費税なくせロングラン行動が行われました。

名古屋でも、満開の桜と春到来、大勢の人が行き交う中、行動参加・団体代表 30 人以上が参加し、午後 1 時から 3 時まで各団体からの訴えやチラシの配布、署名のお願いやシール投票などの協力を呼びかけました。

７５歳高齢者窓口負担２倍化許すな！急速に広がる怒りの輪。署名の集約を急いで！各団体への申し入れも

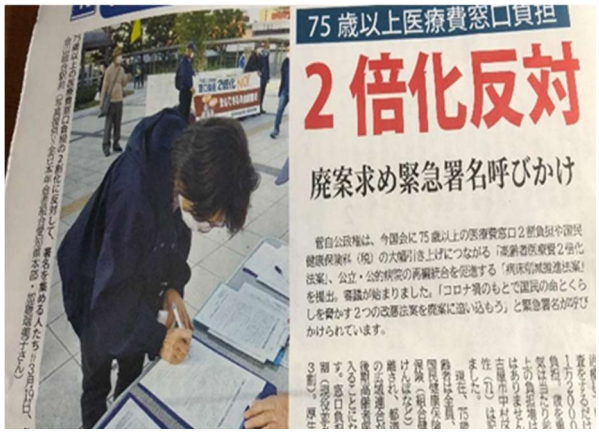
75歳医療費倍加
抗議の渦
医者にかかるの半分に…生きていけない

愛知県保険医協会の折り込みに返信

愛知県保険医協会は、75歳医療費 2 倍化法案の撤回を求め署名はがき付きチラシを新聞折り込みし、約2週間で2,136通 4155 人分の署名が返信されました。自由記載欄には、「知らなかった」「国がまず負担すべき」「消費税を上げて福祉を切り捨てるのは約束が違う」など怒りの声が寄せられました。

日下事務局次長は、「負担増が生活を苦しめ生きる希望を絶つもの。現役世代にも打撃を与え、家族共倒れになりかねない。廃案しかない」と訴えます。

「医療法等の一部を改正する法律案」の撤回を求め、厚労委員緊急 FAX 要請中　詳しくは、愛知社保協までメールでお尋ねください。



75歳以上医療費窓口負担

2倍化反対

廃案求め緊急署名呼びかけ

高齢者370万人

75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に倍増する―。菅政権は今国会で「高齢者医療費2倍化法案」の成立を狙っています。対象となるのは何と370万人。同時に成立を狙っているのが、新型コロナウイルス対策に逆行する「病床削減推進法案」。国民から不安と怒りの声があがっています。

川田博子記者

通院減らすしかない

確定申告関係の書類を手に話す斉藤キヨ子さん

医療費2倍

コロナ禍にひどすぎる

75歳以上の窓口負担2倍化反対を訴える人たち＝3月25日、東京・新宿駅前

患者負担ふやすな

75歳以上窓口負担2倍化NO!

全日本年金者組合

患者負担

安心できる年金制度を

神奈川県で広がる反対運動 6面

小池書記局長インタビュー 7面

👆左上　金山総合駅南口宣伝　　👆左中　３月１８日緊急国会内集会

👆 3月 27 日みなと医療生協 スタンデイング･宣伝･署名行動 他に6団体･社保協 計 33 名

75 歳 2 倍化反対署名　緊急に運動を広げよう！

地元国会議員への要請も届けよう！

第22回あいち社保学校　2021/3/7

保険医協会伏見会議室には、51名が、Webには15名が参加した。記念講演、キャラバンまとめの報告と会場からの発言で学習し交流した。

👆　澤田和男副議長

記念講演「マイナンバー制度の現状と社会保障 ～名寄せ・プロファイリング・選別、そして排除」

自治体情報政策研究所　黒田　充　氏（左　写真）

マイナンバーとマイナンバーカードは全く別個のものと頭においてほしい。マイナンバー：名寄せ　集めるための仕組み。マイナンバーカード：私のマイナンバーを証明するもの　わざわざICカードにしたことでややこしくなった。色々なサービスをくっつけた。今、スマホに入れようとしている。マイナンバーを利用するのは行政機関等であって、使うのは私ではない。　プロファイリング：買っている物や行動からその人の人物像、将来予測ができる。マイナンバー制度の出発点は社会保障費の削減。(略)

いよいよこれからが「マイナンバー制度利活用」の本番 マイナンバーを使ったプロファイリングは、まだ行われてはいないが、制度の目的の一つは、社会保障番 号から受け継がれてきた「社会保障の“公平性”の実現」であり、近い将来、自己責任論に基づく、個 人の状況や努力、履歴等に応じた給付等の制限を目的として行われる可能性は高い。

また、社会の「デジタル化」は、人類社会の発展という点から避けては通れない課題「デジタル化」をどう民主的に管理し、「監視」から基本的人権をどう守るのか、そして民主主義の発 展にどう生かすのか、 同時に、社会保障制度の拡充、基本的人権の保障の観点から「デジタル化」をどうとらえ、活用するか対応が求められる。

2020年愛知自治体キャラバンまとめを、澤田和男愛知社保協副議長が報告した。

名古屋高等裁判所第１回控訴審開始、次回6月24日

朝日新聞　2021年3月9日

生活保護減額 控訴審始まる

原告側 取り消し要求

生活保護基準の引き下げは手続きに問題があったなどとして、愛知県内の受給者13人が減額決定の取り消しなどを求めた訴訟の控訴審が8日、名古屋高裁で始まった。一審・名古屋地裁で敗訴した原告側は、厚生労働相の裁量を広く認めた一審判決について「最高裁判例に反し社会権規約を無視している」と主張した。

弁護団によると、同様の裁判は全国29の地裁・高裁で係争中。大阪地裁は先月、基準引き下げの判断過程に「過誤、欠落がある」として違法性を認定し、原告勝訴の判決を出した。

昨年6月の名古屋地裁判決は、2013年に国が「生活扶助」の支給額を引き下げる際、専門家の意見を反映させず、厚労相が物価下落率を独自の判断で計算し反映させたことは違法とは言えないと判断した。

控訴審で原告側は、決定過程が生活保護法に違反していると指摘。「地裁判決は、基準改定が政権与党の政策の影響を受けたことを容認しており、誤りがある」と主張した。

赤旗しんぶん　2021年3月10日

実態見て減額やめよ

生活保護訴訟原告「判断公正に」

名古屋控訴審

生活保護費減額処分の違法性を争う訴訟の控訴審（2013年）は8日、名古屋高裁（秋本敏雄裁判長）で開かれました。

名古屋地裁は昨年6月、国の主張を認め原告の請求をすべて棄却しました。

原告側は、「厚労相は物価下落率を独自に計算し反映させたことは違法とは言えないとした地裁判決は、厚労相の裁量を広く認めた一審判決について「最高裁判例に反し社会権規約を無視している」と主張しました。

原告は名古屋市内で「いのちと尊厳ライン有が少ないパソコンを守ろう」と報告集会を開きました。

次回は6月24日の予定です。

名古屋地裁、愛知年金裁判に不当判決！

３月２５日３時から、年金裁判（愛知・岐阜・三重訴訟）の判決が、名古屋地方裁判所であり、裁判開始から１０秒にも満たない時間で、裁判長から「本件は、棄却とする」との不当判決が出されました。その後すぐに報告集会を開き、高等裁判所に上告すると多くの意見が出されました。

名古屋地裁判決に対する抗議声明

1 本日、名古屋地方裁判所民事第9部は、愛知県及び三重県に居住する年金受給者合計376名が、平成24年改正法に基づき平成25年度に実施された年金減 額処分の取消しを求めた裁判で、請求を棄却する判決を言い渡した。

2 本裁判において、私たちは、本件年金減額処分は、年金受給者の生存を脅かすものであり、憲法25条が定める生存権、憲法29条が定める財産権、憲法13条が定める個人の尊厳と幸福追求権を侵害するものであると主張してきた。また、年金受給者の生活実態を踏まえず、国会でまともな審議も経ずに成立した平成24年改正法の立法過程には重大な過誤があること等々も主張してきた。

　更に、原告を含む多数の年金生活者の生活実態をアンケート調査した結果や、原告本人の陳述書を提出し、原告代表者9名の法廷での尋問を行って、年金生活者の苦しい生活実態や、本件年金減額処分が引き起こした切実な被害を明らかにするとともに、社会福祉学の専門家の証人尋問を行って、平成24年改正法の誤りを明らかにした。

3 しかし、本判決は、これまでと同様に、立法府の広範な裁量を認めた上で、年金受給者の生活実態をほとんど考慮することなく、立法目的、立法手段ともに不合理とはいえないと判示し、また、制度後退禁止原則や判断過程統制論を本件にも適用すべきとの原告らの主張を簡単に退けた。

　本判決は、被告である国の主張に沿った判決であり、人権保障の最後の砦としての裁判所の役割を放棄したものであると指摘せざるを得ない。

4 私たちは、今回の不当判決を受け入れることは到底できず、名古屋高等裁判所に控訴して闘う決意である。私たち愛知・三重訴訟原告団・弁護団は、全国の仲間とともに、年金受給者の生存権を確保するため、今後とも全力を尽くす決意を表明する。

2021年3月25日

「名古屋の公的医療を守る市民の会」

《名古屋市立病院の大学附属病院化延期と機能存続を求める緊急署名》 個人 9,135 筆・団体 283 筆を提出

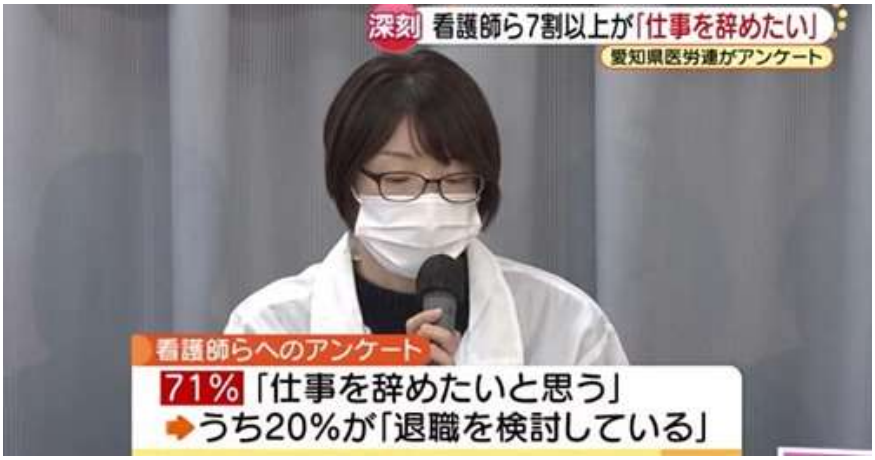
「名古屋の公的医療を守る市民の会」は、3 月 26 日、名古屋市病院局に対し、「名古屋市市立病院の市立大学附属病院化の延期と機能存続を求める緊急署名」の2回目の提出を行いました。 提出署名は、累計=個人 9,135 筆、団体 283 筆。短期間の取組にもかかわらず、多くの市民や全国から寄せられました。

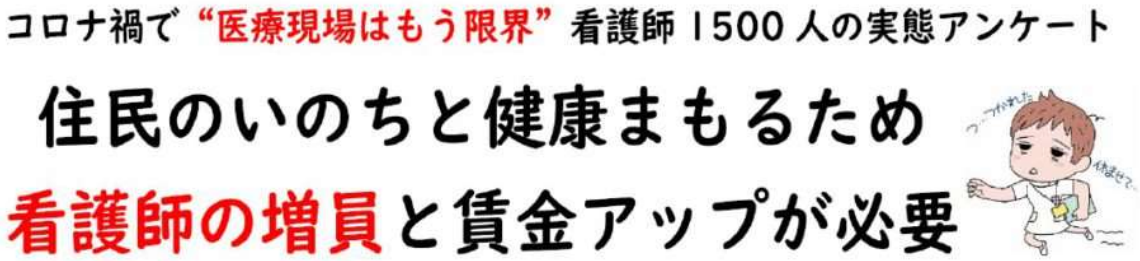
緊急署名の要請3項目の内容は、①「2021 年4月実施は延期をすること」―市議会で移行手続きに必要な議案が採決・承認され、4月移行は決定されてしまいました。 ②「移行に当たっては市立病院としての機能を存続すること」―会として懸念していた、現行市民病院の診療内容等、医療機能の存続については、移行を機に変更する内容は阻止出来ました。また、現状の市民病院に対する各種補助金等についても、独立行政法人化するために、補助名目等は代わりますが、現行水準を維持させました。しかし、独法化する中で、現行の医療内容や補助金等の水準が今後も維持される保障はありません！引き続き、病院運営を注視して行く必要があります。 ③「パブリックコメントなど市民の意見を聞く場を設けること」―市当局の見解は、パブリックコメントの必要はなく、市民の代表である市議会で必要な論議を行い、承認を得ているとし、無視されました。市民の共有財産である市立病院の経営体制の変更を行うわけですから、当然、市民からの意見集約が必要と考えます。「市議会で必要な討議を行っている」だけで済まされる問題ではありません！市立病院の市立大学附属病院化は、そもそも『市民病院のあり方を考える有識者懇談会』によるわずか数回の懇談による意見（＊正式な答申は出されていません）を基に、名古屋市長が市議会で「大学附属病院化積極推進」を答弁したことからスタートしています。

名古屋市当局のこの様な、市民無視の市政運営の姿勢は、その後も、**緑市民病院**（現在―指定管理者に運営委託し、契約期限切れ―2022 年 3 月-後の運営）の今後の運営をめぐり『緑市民病院のあり方を考える有識者懇談会』（2020 年 1 月～）が開催されていますが、こちらもわずか 2 回の懇談会で、正式な答申も発表されない中、名古屋市内の「南部地域医療連携推進協議会」（2/16 開催）で市立大学附属病院化（2023 年 4 月）方針が説明されました。市議会での審議は今後となります。さらに、**名古屋市厚生院**についても『名古屋市厚生院のあり方検討会』が昨年 10 月に**附属病院のあり方**について「健康長寿に向けた医療・研究等の新たな取組み」についての（素案）を発表。3 月の市議会で「附属病院化」方針を説明しました。

この様に、名古屋市立病院をめぐり、《市立2病院+緑市民病院+名古屋市厚生院附属病院》と相次いで 4 つの病院の市立大学附属病院化を、それぞれの「検討会・懇談会」での審議と市議会での議案審議のみで決定し推進しています。これでは、全くの市民無視・当事者（それぞれの病院の利用者・職員）無視の市政運営と言わざるを得ません！ 引き続き名古屋市の公立病院の存続・拡充強化を求める運動の強化と、名古屋市政の刷新を市民に訴え世論づくりが急務です。

3月11日愛知・看護職員 1,487 人のアンケート結果発表





愛知県医労連は、3月11日記者会見し、看護職員コロナ緊急アンケート1487人分の集約結果を発表しました。会見では、現場看護師から「退職者が増え、夜勤回数が増加。人手不足で患者の入浴ができないことも」「コロナを受け入れていない病院も大幅な減収で、支援が必要」など訴えました。マスコミ各社12名が参加し、メーテレが当日の夕方ニュースで放映しました。

アンケート結果の PDF は下記からダウンロードできます↓↓19f5b33c944c29e155f81c8321c7915b

介護夜勤 8割が16時間超

労組調査 人手不足で二交代制

二交代制シフトを取る介護施設のうち、夜勤者が十六時間以上働いている所が84%に上ることが一日、日本医療労働組合連合会の調査で分かった。慢性的な人手不足、余裕がなく、過酷な勤務形態の改善を求める声が現場の職員から出ている。

症状が重い要介護3以上の高齢者が入所する特別養護老人ホーム（特養）やリハビリを受ける介護老人保健施設（老健）などに二〇二〇年六月の実績を聞き、百三十九施設から有効回答を得た。

二交代制シフトは百十二施設で、このうち九十四施設の夜勤が十六時間以上の勤務だった。多くの場合、夕方から翌朝まで働く。勤務が十六時間以上だったのは、サービス類型別に見ると老健が三十四、グループホームが二十三、特養が九。三交代制ならば、八時間勤務のシフトを組むことが可能になる。

東京都内の特養で介護福祉士として働く福和門さん（三）は、夜勤の際、二人で約五十人を世話する。入所者が病気などで救急搬送される際には一人が病院に付き添うため、残る一人が朝まで対応する。二人とも休憩が取れない例も少なくない。

福さんは「日中の明るい時間帯に休もうとしても寝られず、生活のリズムが崩れる。睡眠薬を飲む職員もいる」と深刻な状況を訴えた。

夜勤16時間以上の介護施設の割合

84%（94施設）

主な類型別施設数
- 介護老人保健施設（老健）……34
- グループホーム…23
- 特別養護老人ホーム（特養）……9

※2交代制シフトの施設が対象、日本医療労働組合連合会調べ

立ち止まって考えよう！みんなでつくる！
暮らしやすい名古屋！
愛知保育団体連絡協議会のシンポジウム
「名古屋市に届けたい！私たちの思い」
YouTube で視聴できます。
https://youtu.be/ygVY5niOXLU
発言者の資料は、愛保協のホームページから見られます。
https://www.aihokyou.com/

☚愛知県医労連の調査中日 3/2

愛知民医連コロナ禍の「市民の不安アンケート」発表

コロナの影響、通院控えが 2 割弱、感染を恐れ PCR 拡充要望８割以上

２月 24 日、コロナ影響アンケートの結果で、記者会見を行いました。

2020年 10 月から各法人の協力で行った「コロナ影響アンケート」は918 件の回答が寄せられ、愛知民医連として結果を発表する記者会見を行いました。

今回のアンケート結果から、コロナを恐れての通院控えが約 2 割で見られていること、県民の多くが感染対策・自粛の努力をしているが心身に負担になっていること、PCR検査拡充といった感染対策を求める声が多数であることがわかりました。

結果を元に、改めて感染対策と自粛をつづけるための補償を求めると共に、医療・介護・福祉分野への全面的支援、感染予防対策としてPCR検査拡充、社会的検査の実施に舵を切ることなどが必要だと訴えました。

全日本民医連のコロナ禍を起因とした困窮事例調査に出した、医療法人名南会からの 10 事例を紹介しました。 新型コロナ影響アンケートの結果はこちらから

名古屋市長選挙 #新しい名古屋市長を選択します

名古屋市長選挙 4/25（日）投票日です

Twitter デモメガホン

拡散ご協力ください!!マーク

午後 7:52 · 2021 年 4 月 2 日·Twitter for iPhone